



発行所 日本工業経済新聞社 前橋支局 群馬県前橋市問屋町1-1-1 電話 027(210)8200 FAX 027(210)8500 本社 東京都文京区千駄木3-36-11 電話 03(3822)9211 URL:http://www.nikoukei.co.jp/ ©日本工業経済新聞社

# コンペで設計・施工者選定

## シルバーライフ 邑楽町へ新工場計画 10億投じ18年末着工予定

高齢者向けにお弁当などを提供する配食サービスのシルバーライフ(清水貴久社長、東京都新宿区)は、邑楽町へ新工場を建設する。約10億円を投じる計画で、床面積1231㎡の関東工場(邑楽町中野1678-1)に比べ約4倍となる規模を想定する。設計・施工者は計画や価格などを競うコンペで選定する予定で、県内外の多くの業者に参加機会がありそう。着工は2018年末を予定する。同社は10月に東証マザーズ市場に上場。高齢者配食サービス市場の拡大に備え、第三者割当増資などで調達した資金を工場建設など設備投資に充てる。

少子高齢化による配食サービスの伸びを見据え生産能力を増強する。新工場は関東工場の近隣に建設する予定で、用地を探している状況。決定次第、具体的な施設設計を始める。関東工場はS造2階建て、亜鉛メッキ鋼板葺き、1階1013㎡、2階205㎡で計1231㎡の規模。清水社長は新工場について「関東工場の約4倍になりつつある」と話しており、4000〜5000㎡規模の床面積となる可能性がある。

食品工場のため衛生管理には特に力を入れる。設計・施工者には食品衛生管理手法のHACCP(ハサップ)仕様での計画立案を求める方針で、そのほか同社のニーズを踏まえた構想と具体的な建設プロセスを提示してもらう。計画の実効性を判断するため施工実績などを求める可能性はあるが、基本的にコンペには参加条件を設けない方針。県内外いずれの業者の参加も可能で、計画を実現できる体力や体制、優れた構想があれば受注のチャンスがある。徳川組(邑楽町)が請け負っている。同社は全国のフランチャイズチェーン(FC)加盟店や高齢者向けの食材を製造している。毎日食べても飽きない食事を提供しようと豊富な品数を用意。FC店は約560店舗にまでなった。そのサービスを支えるのが自社工場。今回の工場増築により将来的な需要増にも対応できる基盤をつくる。従業員も新たに社員20人、パート100人

加齢店や高齢者向けの食材を製造している。毎日食べても飽きない食事を提供しようとする豊富な品数を用意。FC店は約560店舗にまでなった。そのサービスを支えるのが自社工場。今回の工場増築により将来的な需要増にも対応できる基盤をつくる。従業員も新たに社員20人、パート100人

程度を雇用する予定。ベトナムからの技能研修生も西工場合わせ最大70人程度増やす考え。清水社長はさらに店舗網を広げるなど成長を続け、「5〜10年後には売上高100億円を突破したい」と意気込んでいる。なお、第三者割当増資は、みずほ証券が応じており、第三者割当増資による手取概算額と公募集株式発行による手取概算額合わせた合計手取概算額約13億6000万円は、冷凍冷蔵倉庫兼物流センター、社員寮および第2食品製造工場の建設資金等に充当する予定となっている。

同社は10月25日に東証マザーズ市場に上場した。清水社長は調達した資金を「ほぼ全額設備投資に充てる」考えで、工場で働く従業員の寄宿舎の建設にも着手した。建設費は約2億円。設計・施工は同社物件の施工実